

国語教員志望の皆さんのために

広島大学国語国文学会 特別公開講演

高等学校における古典教育の展開と集積 —単元編成と指導法の開拓をめざして—

鳴門教育大学名誉教授 世羅博昭 先生

日時 / 平成25年7月6日(土) 15時00分～

場所 / 文学研究科 (文学部) B251 講義室

【要旨】

学習者が古典を文学として読み味わうことと古典の読解力を習得することとを同時に成立させる授業の創造は、古典教育実践の永遠の課題である。この課題解決のために、私自身が高校国語科教師として21年間、どのような古典の教材化を図り、どのような単元編成のもとに、どのような指導を展開していったか、その実践個体史を跡づけるとともに、その過程で、どのような古典教育の領野を開拓していったか、その内実を明らかにしたい。

【講師略歴】昭和15年広島県生まれ。広島大学文学部国語学国文学専攻卒業。広島県立高校教諭を経て、広島大学附属中・高等学校教諭。以後、長崎大学、鳴門教育大学、四国大学にて教鞭を執る。博士（教育学）。



関連研究発表

7月6日(土) 午後1時30分～

国語教材としての「城の崎にて」	広島大学大学院博士課程前期	荒木 裕子
連歌実作を取り入れた古典の授業	福岡県立北筑高等学校教諭	黒岩 淳

あわせて御聴講ください